

がいこくせきけんみん かいぎ
外国籍県民かながわ会議の
ぶかい わ あん せつめい あん
部会分け案の説明（案）

しりょう
資料 2

わけ かけ方	テーマで分ける	せいか け 成果で分ける
ないよう 内容	○ 同じテーマに問題を感じる委員が話し合う。	○ 同じ成果を期待する委員が話し合う。
すす かけ 進め方	① テーマごとに、足りないものや、これから必要な取組を考える。 ② 必要があれば、勉強会をする。	① 「こうなるだろう」という成果を達成するために必要な取組を考える。 ② 具体的な取組の企画書を作り、提言を補助する。
いいところ	○ 委員は、同じテーマに興味がある。だから、テーマに沿ったアイデアを言いやすい。 ○ 部会の委員だけで勉強会ができるので、日にちを決めやすい。	○ テーマを限定しない。だから、色々なアイデアを出せる。 ○ 最初に、目指す成果を決める。だから、スムーズに話し合いを進めることができる。
わる 悪いところ	○ それぞれの委員が考えている成果のレベル（どこまでするか）が違っていると、話し合いが進みにくい。 ○ 委員が自分で考えたテーマに沿った議論になりやすい。 ○ 新しいアイデアが出ない可能性がある。	○ 話し合いをして、目指す成果と自分の考えが違っていると、部会を移動する可能性がある。 (または、別の部会で自分の案を話すよう、お願いをする) ○ 勉強会に参加する人数が多くなり、日にちを決めづらい。

区分	テーマで分ける	成果で分ける
イメージ	<p>れい きょういくぶかい (例) 教育部会</p> <p>かだい 【課題】 こうこう しんがくりつ ひく 高校の進学率が低い。</p> <p>かいけつ ほうほう 【解決する方法】 こうこう しんがくりつ あ はな 高校の進学率を上げるために話し あ 合う。</p> <p>ていげん れい 【提言の例】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高校の定員を増やす。 2 多言語の資料を作る。 3 中学校 への 支援 の 体制 を じゅうじつ 充実させる。 4 公私の学費格差を改善する こうし がくひかくさ かいぜん (「高等学校等就学支援金制度」 こうとうがっこうとうしゅうがくしえんきんせいど などの かくじゅう 拡充)。 <p>ていげんご 【提言後】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1・2 県に 働 きかける。 けん はたら 3 市町村に 働 きかける。 しちょうそん はたら 4 国に 働 きかける。 くに はたら 	<p>せいかつ かいぜん ぶかい (例) 生活を改善する部会</p> <p>かだい 【課題】 あんしん く 安心して暮らせるようにする。</p> <p>かいけつ ほうほう 【解決する方法】 う い しゃかい はな 受け入れやすい社会にするために話し あ 合う。</p> <p>ていげん れい 【提言の例】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域に引っ越してきた外国人 ちい き ひ こ がいこくじん に生活情報を紹介する。 せいかつじょうほう しょうかい 2 地域のイベントに出展する。 ちい き しゅってん 3 小学校で、母語・母文化の しょうがっこう ぼ ご ぼぶんか 授業を行う。 じゅぎょう おこな <p>※ テーマごとにする場合、1は せいかつ ぶかい たぶんかりかい 生活の部会、2は多文化理解や こくさいこうりゅう ぶかい きょういく 国際交流の部会、3は教育の ぶかい わ 部会に分けられる。</p> <p>ていげんご 【提言後】 ちい き しちょうそん はたら <u>地域(市町村)に 働 きかける。</u></p>